

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|---------------|
| 施設番号 | 66-0316 |
| 施設名 | かすみ台第一保育園 |
| 施設所在地 | 東京都青梅市大門2-253 |
| 法人名 | 社会福祉法人かすみ福祉会 |

1.活動のテーマ

〈テーマ〉

世界を知る（5歳児クラス）①

〈テーマの設定理由〉

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

・国内や海外にて世界の文化や人種が関わるイベントや国際大会が年間通して開催されることを子ども達に知らせたいと思い、テーマとして挙げた。

2.活動スケジュール

- ・4月、大阪・関西万博開始の時期に合わせて画像や公式SNSを使用しながら大阪について知らせた。
（公式キャラクター「ミャクミャク」について、外観の木造建築について、国内および海外のパビリオンについて）
- ・子ども達からのテレビ等の情報や部屋に掲載している画像を使用しながら、遊びに取り入れる。
- ・5月、大阪・関西万博の公式キャラクター「ミャクミャク」に関する遊びが広がる。
子ども達考案の「ミャクミャクを探せ！」と題した、玩具を使ったかくれんぼが盛り上がる。
- ・6月、SDGsについて紹介した。ゴミをテーマに、きれいな海や川に住む生き物とゴミが散乱した中で住む生き物の比較を画像引用しながら伝えた。
（ゴミが川や海に漂流することについて、スーパーなどに設置しているリサイクルについて）
- ・大型絵本「ガチャピンムックのもったいないのはどっち？」の読み聞かせを通して、水の大切さやエコに関する取り組みを知らせた。
- ・7月、バレーボールネーションズリーグ日本ラウンドの日程に合わせ、画像や雑誌等引用しながら活躍している日本人選手や対戦国の国旗や街並みなど紹介した。

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

- ・ラキュー ・積木 ・世界国旗カルタ ・ミニドール ・画用紙 ・文具（ペン、ハサミ、のり等）
- ・アーチレーンボー ・大型絵本「ガチャピンムックのもったいないのはどっち？」
- ・アースボール（地球儀） ・パソコン ・iPad

4.探求活動の実践

〈活動の内容〉

- ・画像や公式SNS等の情報を基に、積み木やラキューで大阪・関西万博の外観や街並み、公式キャラクター「ミャクミャク」の人形や開催地で展示されている人間洗濯機などを表現し遊びを広げた。
- ・SDGsの取り組みについて海や川の生き物を例題に挙げ、子ども達が感じたことを発言し合いエコやリサイクルに対する取り組みに意識を持たせた。
- ・スポーツで活躍している日本人選手や生放送日を紹介し続け、話や遊びを広げていった。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り〉

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

（大阪関西万博）・紹介し始めた時期が開幕直後であったため、あらゆる番組で放送しているのを観たという声が挙がり、子ども自ら玩具で表現しようと取り組んでいた。他にも大阪に関することを紹介したことで「行ってみたいな」と期待を抱く子がいた。

（SDGsについて）・クラスの中に家族で沖縄方面へ旅行へ行った子がおり、その子が見た海の色やきれいさ等を紹介しながら伝えたことで、汚れた海との比較ができた。画像はインターネットを使用した「魚たち可哀そう」「ちゃんとゴミ箱に捨てないと駄目だよ」などの意見が挙がった。ボランティア活動について紹介した際には、先日皆で公園へ行った際、同様な活動をしている方を見掛けたことを思い出し「おじさん達にありがとう！って言わなきゃだね」と話しており、子ども達に保育士の思いが伝わることでできた。

（スポーツについて）・元々バレーボールに興味を抱く子がいたが、日本人選手の格好良さや可愛さに更に興味を抱き、新たな情報を求めに保育士に話しかけるほどであった。テレビで放送された内容を積み木コーナーで再現した際には、子どもと一緒に実況中継者役を行った。テレビを観て印象に残ったようで、「日本に1点入りました！」などとアナウンサーの真似を楽しんでいた。

スポーツ観戦の雰囲気が出ており非常に盛り上がった。



5.振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・自分達が住んでいる場所以外の街並みや人種など、画像や雑誌、テレビなど通して知っていくうちにどんどん関心が高まっていた。中でもSDGsの話をした際には、ゴミのポイ捨てに対しての意識が高まり、道路を歩いている際「ポイ捨てだめだよ」「生き物たちが間違えて食べたら大変だよ」と気付くようになった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|---------------|
| 施設番号 | 66-0316 |
| 施設名 | かすみ台第一保育園 |
| 施設所在地 | 東京都青梅市大門2-253 |
| 法人名 | 社会福祉法人かすみ福祉会 |

1.活動のテーマ

〈テーマ〉

世界を知る（5歳児クラス）②

〈テーマの設定理由〉

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

・国内や海外にて世界の文化や人種が関わるイベントや国際大会が年間通して開催されることを子ども達に知らせたいと思い、テーマとして挙げた。

2.活動スケジュール

・8月、FIBAアジアカップ（バスケットボール）および女子世界バレー（バレーボール）開催に合わせてiPadを使用しながら対戦国の国旗や街並み、食事や人柄を紹介した。
（※男子バスケットボール日本代表開催国サウジアラビアについて）
（※女子バレーボール開催国タイ、日本代表対戦国カメルーン、ウクライナ、セルビア、トルコ、タイについて）

・9月、男子世界バレーおよび世界陸上開催に合わせて、iPadを使用しながら対戦国の国旗や街並み、食事や人柄、海外の有名選手を紹介した。
（※男子バレーボール開催国フィリピン、日本代表対戦国トルコ、カナダ、リビアについて）
（※世界陸上開催地である国立競技場について、国内および海外選手の活躍を動画で紹介した。）

・画用紙やクレヨンを使って手作り国旗を作成し、部屋に装飾した。

・10月、ハロウィーンをテーマに世界のお祭りについて絵本で紹介したり、製作や装飾を楽しんだ。

・11月、引き続き絵本を基に世界のお祭りについて紹介した。

・12月、クリスマス为主题にドイツの街並み（クリスマスマーケット等）について紹介し玩具で表現した。

・1月、ミラノ コルティナ2026冬季オリンピック開催に合わせてiPadやSNSを引用しながら開催国（イタリア、ミラノ、コルティナ）の建物や食べ物、五輪の意味、聖火ランナー、スポーツ、日本選手、公式キャラクターについて紹介した。

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

・iPad ・積木 ・ミニドール ・アーチレインボー ・ラキュー ・画用紙 ・クレヨン
・旗用の棒 ・コピー用紙 ・はさみ ・のり ・マジックペン ・アースボール（地球儀）
・パソコン ・iPad

4.探求活動の実践

〈活動の内容〉

- ・バスケットボール、バレーボールのおよび陸上の日本代表の試合日、放送時間等を子ども達も見れるカレンダーに記入して、興味を持続させた。
- ・ハロウィーンにちなんで、絵本「世界のおまつり」を1日1ヵ国読み聞かせを行い世界のお祭りについて紹介した。当日は自分たちなりに考えたお化けの仮装をし、雰囲気を楽しんだ。
- ・世界のクリスマスの過ごし方をiPadや絵本で紹介した。子ども達がドイツに興味を示したことを機に玩具を使って表現遊びを楽しんだ（街並みなど）。
- ・冬季五輪は公式SNSの動画を使用しiPadで紹介した。開会式を迎えるまでの数日間は、イタリアの世界観を積木で表現した。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り〉

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

- ・対戦国に関する情報をインターネットで検索し、フライト時間も一緒に紹介した所「ずっと運転しているの大変だね」と操縦士のことを気遣う言葉が挙がった。紹介した国のほとんどがヨーロッパだったこともあり、素直な意見がでたようである。
- ・世界陸上では日本で話題となった海外選手も一緒に紹介した所、名前やその選手の決めポーズを覚える位興味を抱いていた。運動会の練習時期と重なっていたことで、100メートル走やリレーに対しての興味が高く子どもたちにとって選手の走り方やバトンの受け渡し方が参考となったようであった。
- ・ハロウィーンやクリスマス時期になると、子ども達の方から「もうすぐハロウィーンだね!」「僕が好きなアメリカのハロウィーンってどんな風に行っているのかな?」と話していた。子ども達の生き生きとした姿をすぐさまiPadで検索し、積木やラキューなど使って表現することに発展したことで、1つのことに1ヵ月程楽しむことができた。
- ・ミラノ、コルティナ五輪の関しては、イタリアの街並みや建物に対して「きれいだね!」と日本とは違う街並みや景色に興味を抱いていた。食べ物に関しても興味を示し、「おいしそう!食べてみたい!」「ママに作ってほしい、って頼んでみようかな」という声が続いてきた。スポーツの臨場感を高めるために、iPadで動画を流すと「大きくなったら、このスポーツやってみたい!」とアルペンスキーやスキージャンプ、フィギアスケートなど次々と興味を持っていた。



5.振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・様々な国の人柄を紹介していくうちに、子ども達から食べ物やどんな動物がいるのか、博物館はあるのか、などどんどん質問が挙がった。すぐさまiPadで検索することで子どもからの疑問に対応することができ、子ども達の好奇心が持続したり話題が膨らむことができた。
- ・職場体験で年長児クラスに入った学生の容姿に興味を抱き、質問をする場面に遭遇した。様子を見てみると、ある園児が「私と同じように、パパかママが外国の人なんだと思うよ。」「日本語が上手なのは、私も同じだよ。ずっと日本に住んでいるから上手なんだと思うよ。」と周囲が納得するような返事をしてきた。発言した園児にとって、学生が自分と同じ状況であると判断したようである。今回の経験は、すくわく活動を通して保育士が伝えたかった思いが伝わったと感じ取れ、達成感を得ることができた。
- ・「世界を知る」をテーマに数ヵ月取り組むことで、子どもたちから意欲的に疑問を調べたり保育者に聞いたりする姿がみられ、成長を感じられた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|---------------|
| 施設番号 | 66-0316 |
| 施設名 | かすみ台第一保育園 |
| 施設所在地 | 東京都青梅市大門2-253 |
| 法人名 | 社会福祉法人かすみ福祉会 |

1.活動のテーマ

〈テーマ〉

世界を知る（5歳児クラス）③

〈テーマの設定理由〉

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

・国内や海外にて世界の文化や人種が関わるイベントや国際大会が年間通して開催されることを子ども達に知らせたいと思い、テーマとして挙げた。

2.活動スケジュール

- ・1月、SDGsについて紹介し、地域活動の取り組みとして保育園周辺の公園や遊歩道などを散策しながらゴミ拾い活動を行った。
- ・2月、ミラノ コルティナ2026冬季オリンピック開催中はテレビニュース番組や公式SNS、動画などで得た日本人選手の活躍を紹介した。
- ・2月、ミラノ コルティナ2026冬季パラリンピック開催に合わせてパラスポーツを紹介した。
（※パラアルペンスキー、スノーボード、車いすカーリング、パラアイスホッケー、パラクロスカントリー）
※各スポーツは、公式ホームページや動画サイト等を使って紹介した。
- ・2月、WBC（ワールドベースボールクラシック）開催に合わせて、日本代表として活躍する日本人選手を紹介した。
- ・3月、ミラノ コルティナ2026冬季パラリンピック開催に合わせてアスリートや障がい者が使用している道具を人形用玩具やインターネット画像や動画を使って紹介した。
（※義足、義手、補聴器、白杖、歩行補助杖、車いす、点字ブロック、電車のホームドアなど）
- ・3月、ミラノ コルティナ2026冬季パラリンピックやWBC（ワールドベースボールクラシック）開催中は、対戦相手の国や試合結果を動画やインターネット画像を使って紹介した。

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

- ・ゴミ拾い用のトング ・腕章 ・ビニール袋 ・軍手 ・積木 ・ミニドール ・アーチレインボー
- ・人形 ・人形用車いす、白杖、補聴器 ・盲導犬の人形 ・iPad ・折り紙 ・のり ・はさみ ・毛糸 ・再生紙
- ・絵本「車いすのおねえちゃん」「みえないってどんなこと？」「もうどうけんドリーナ」「へいわってどんなこと？」
- 「すごいね！みんなの通学路」「かっくん どうしてしかくいの？」 ・アースボール（地球儀） ・パソコン ・iPad

4.探求活動の実践

〈活動の内容〉

・ゴミ拾い活動は、自分達が生活している周辺の川に生きている魚や動物たちも快適な生活ができるように手助けする目的として、よく遊んでいる公園や遊歩道などにゴミが落ちていないか散策した。

・冬季五輪開催中は、積木でスポーツの会場を作り「オリンピックコーナー」として展示した。また廊下には日本人選手がメダル獲得した数を掲示し、子ども達と一緒に数えて活躍している選手の凄さを講えた。

・パラリンピック開催へ向けて、シンボルマーク「スリーアギトス」の意味やメダルのデザイン、公式キャラクターの「ティナとミロ」の体の違いについて紹介した。またパラスポーツ（カーリング）の疑似体験を行うことで義足や義手など使って体の一部を補っていることや自分達と同じように行動していることの凄さに気付き、パラリンピックの意図に興味を持たせた。

パラリンピック開催中は、人形用玩具の補聴器や白杖、補助棒、車いす、盲導犬を使って人助けをしている道具があることを紹介し、盲目者や聴覚障害者が感じていることを子どもたちなりに理解することへの取り組みを行った。

・WBC（ワールドベースボールクラシック）に出場する日本人選手一人ひとりをインターネット画像を使用しながら紹介し、話や遊びを広げていった。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り〉

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

（ゴミ拾い活動）・保育園から出発した時は、タバコなど目につくゴミを発見していたが遊歩道や公園を散策すると茂みの中から玩具用のリモコンや1.5ℓのペットボトルなど大きなものが廃棄されており、見つけた達成感と共に「ちゃんとゴミ箱に捨てないとダメだよね！」「なんでちゃんとゴミ箱に入れないの！」と感情こもった発言を聞く事ができた。更に帰園する道中では、小さなアクセサリーの欠片も見つけることができ「こんな小さなものも落ちてたよ！」と友達に伝える姿が見られた。子ども達なりにSDGsの取り組みについて理解することができ、ロゴマークを真似して絵を描く子もいた。

（オリンピック、パラリンピック、WBCについて）・日本人選手が活躍する姿をテレビで見たことを登園時に話していた。「スケート見た？金メダルだって！すごいよね！」等と保育者が話す前に子ども達の方から話してくれることが日課となる位、子ども達も興味を抱いていた。パラリンピックに関する話を紹介していった際、白杖を使用する人たちが点字ブロックを頼りにしていることを伝えると「電車に乗った時に見たことある！」と反応していた。そして「点字ブロックを作ってくれた人に感謝しなきゃだね、ありがとう！」と予想外の発言する子がおり感銘を受けた。保育者が伝えなかった思いが子ども達に届いた瞬間であった。WBCについても野球が好きな子中心に盛り上がり「パパも野球好きだから今日聞いた事伝えなきゃ！」と話していた。また日本代表の対戦国（イタリア、ベネズエラ等）の風景をインターネットで紹介すると子ども達の方から「飛行機で何時間で行ける？」「どんな食べ物がある？」「どんな動物、鳥がいる？」と次々と質問が挙がっていた。



5.振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

・新しい話を切り出す度に「今度はこの国を教えてください」と興味を抱いていた。オリンピックやパラリンピック開催地やWBC開催地であるイタリアやアメリカであると更に喜んでた。

・パラリンピックに合わせて義足や義手をはじめ、様々な道具の紹介をしたことを家族にも伝える子が多く、保護者からは「毎日のように先生から聞いたことを教えてくれるので、保育園で色々なことを教えてもらっているな、と関心しています。」という声が聞けた。また、テレビで戦争に関する情報を子ども達も知っており、絵本「へいわってどんなこと？」を読み聞かせた際には真剣に話を聞く子が殆どであった。読み終えた途端「戦争って、何で起きるんだろうね。こんなに悲しい気持ちになるのに…。」と話しており、子ども達も戦争に対する思いを感じたようであった。最終的には「（自分たちが大人になっても）絶対こういうことはしないよ。」と話していた。このようなやりとりを通して、オリンピックやパラリンピック開催を機に「平和」について伝えることもできうえに、子ども達の成長を感じられて良かった。